

たからでら
宝寺は観音寺くわんおんじの南にあり、補陀洛山宝積寺ふたらくさんほうしやくじといふ。真言宗にして、本尊は十一面観音めんくわんおんの立像にして、聖武帝しやうむてい行基ぎやうき大士だいしの両作なり。「堂内の寶頭留びんづるの像は行基ぎやうきの作なり。庭上の石塔婆は聖武帝しやうむていの御塔なり、三重の塔には大日如来だいにちによらいを安置す、当寺の什宝に打出の小槌あり、聖武帝の御宇龍神捧しなり」